

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

能ヶ谷西緑地だより

2025年12月1日号 237 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【12月の予定】

- ◆12月13日（土）（雨天翌日）
 - ・小田急住宅下草刈り
- 12月27日（土）（雨天翌日）
 - ・中央広場溝浚い
 - ・納会
- * 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆12月6日（土）（10:00～12:00）
 - ・ヤマユリ連・手作りカフェー
- 平和台集会所
- ◆12月21日（日）（雨天中止）
 - 中央広場で輪飾り作り（10:00～12:00）
- どなたでも参加自由です。



！恒例 輪飾り作り！

日時：12月21日（日） 10:00～12:00（雨天中止）

日曜日です、お間違いなく！

場所：能ヶ谷西緑地 中央広場

参加費：300円

持ち物：はさみ



地産の藁でお正月を祝いましょう！

初心者歓迎、お気軽にどうぞ

（直接会場にお越しください）

※※※※※※

緑地だより

※※※※※※

11月8日 曇 参加者 8名

心地良い季節となりました。今日の活動は 南斜面の下草刈り。暑さを過ぎたのでゆっくりな成長になった葛や笹を刈り込み、フェンスに絡んだ蔦類を剥がしていきます。勢い良く育っている季節には気合を入れて刈り込むのですが、今日はなんだかゆったりした気持ちで刈り込む自分が不思議です。フェンスにはたくさん絡んでいます。皆ん

なで絡んだ蔓を丁寧に解きながら、2時間ほどですっきり綺麗になりました。

作業後に整理体操をリードするメンバーが今日は不在だったので、YouTubeのラジオ体操第一で体をほぐして作業終了。

その後は『まちカフェ』

『第二小学校でのしめ縄作り』についての打合せ。

花畑では一重と八重の秋明菊、石菖、野紺菊が可憐に咲いています。次の活動日にはもう咲き終わっているでしょうから、また会えるのは一年後です。

（片野）



ツワブキ

11月22日（土） 晴 参加者 8名

平和台第一児童公園から緑地に入り、花広場や中央広場に下りていく小道に沿って、色々な植物が生えている。クヌギやウグイスカグラ、山桜やゴンズイ等の樹木の外にヤマユリやホウチャクソウ、時として珍しいサガミラン等の美しい花々。

今日はこの小道周辺の下草刈りをした。この夏の暑さにも負けずアズマネザサが繁茂し、鎌で刈るとザックザックと手強い音がする。

中休みに空を見上げると、頭上には枯れたコナラがそびえている。根元周りの太さは50cmほどもある大木だ。ただ、これは数年前に全国的に問題となった「ナラ枯れ病」の被害を受けた木だ。おそらく数年内に根本から折れ、黙したまま斜面に倒れ落ちていくのだろう。危なくなる前に切り倒しておかなくてはならない。

作業を終えた後、29日に参加予定の「まちカフェ」に向けて最終的な段取りを行い散会した。

（かつた）



シュウメイギク

まちカフェに参加しました！

町田市で活動する市民活動団体が市役所でそれぞれの活動を示す、まちカフェという催しが11月29日に開催され、西緑地として初めて参加した。

何をすれば良いのか、分からないことばかりだったが、西緑地の活動の様子やそこにいる生きものの絵や写真を飾り、どんぐりごまを作って子どもたちが遊べるように展示した。

お客さんが来てくれるのだろうか・・・という不安のうちに始まったのだが、150名もの客が来てくれた。会員が緑地の植物の絵を描いたものを絵葉書にして自由お持ち帰りにしたのだが、この絵葉書が好評だった。また子どもたちは、どんぐりごまに色を塗るのを楽しんでいた。鶴川近辺の人でも何人か来て西緑地に遊びに行くと言ってくれたのはよかった。

今回のまちカフェには、鶴川第2小学校の4年生も協力してくれて、展示作品を提供してくれたりした。朝すぐにその子ども達が家族で見に来て、自分たちの作ったものを見せていたのはうれしかった。

西緑地を少しでも町田の中で知ってもらえたのなら、やった甲斐があったと言えるだろう。

(宇野)

【緑地に咲く】イヌタデ（犬蓼）



4月から10月頃まで広く見られるが、秋のイヌタデは葉が紅葉して、他の季節とは違った趣がある。

淡紅色の実をおまごとで赤飯に見立て、「アカマンマ」の名で親しまれている。

「蓼食う虫も好き好き」の蓼は、柳蓼だが、辛味こそないものの、イヌタデの葉や花もてんぷらなどで食べられるそうだ。

(上野)



ドングリゴマを回したり、色を塗ったり



展示風景

- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しみましょう。

- ◆ ご意見がありましたら nishiryokuchi@gmail.com まで
「緑地だより」編集：小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP（毎月末に更新）

<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>

配信希望の方は、nishiryokuchi@gmail.com まで

葉っぱのスタンプと折り紙

11月1日（土） 10：00～12：00

平和台集会所

この日は早すぎる寒さも和らぎ、過ごしやすい日でした。窓外の木々はうっすらと紅葉が始まっています。

以前からのメンバーに加えて、「この活動が気になっていたのです」と、新しい方が見えました。着物のリメイクを着てきた方が3人もいて、ファッションショーと相成りました。

活動は白い布や袋に、カタバミ等様々な葉っぱの裏側にスタンプインクをつけてばれんでこすり、染め付けました。葉っぱの葉脈の意外な美しさに、見とれます。単色だけでなく、途中で色変わりさせたりと、各人が工夫して図柄を作っていました。小さなカードに蝶のスタンプや葉っぱを使って、素敵なカードに生まれ変わらせたり。

折り紙では来年の干支の馬づくり。いななきが聞こえそうな凜々しい形です。尻尾を人差し指でヒョイとうまく押し上げると、1回転

して立ちます。ちゃんと立った時は歓声と拍手が起きました。

やまゆカフェ：どんぐりケーキ、さつまいもとリンゴの茶巾絞り

（齋藤好子）



【緑地を楽しむ本】

『たねはいのちのおわりとはじまり』

鈴木純 著 ブロンズ新社



シロツメクサの茶色くなった花が、かたまりのままポトッと落ち、そこから芽がでてくる写真が驚きだった『シロツメクサはともだち』と同じ著者の新刊です。今作も楽しい写真が満載です。

さまざまなたねがさまざまな方法で移動して、芽生える様子。中でも、ひまわりが成長していく姿を追っているのですが、ぐいぐい背が伸び、大きな花が咲き・・・でも8日後には花がしおれてきて、11月にはすっかりカサカサになって・・・「もうおわかれだね」と思ったら、カサカサになっていたのは「たね」で・・・

「かれて『さよなら』だと思ったけど、じつは『おかえり』でもあったんだ」と。「たね」がはじまりでもあり、おわりでもある、めぐる「いのち」であることがよく伝わります。

見開きいっぱいいろいろなたねの写真もあり、ちゃんと原寸大の写真も添えられています。

あとがきの、「たね」ということばについての解説があります。タンポポの綿毛の下についているふくらみは「果実」なのだと。

えーっ！！果実と種子の関係も、ちょっと調べてみたくになります。

（遠藤）